

## 令和2(2020)年度事業計画(案)

(一社)千代田エコシステム推進協議会

## &lt;EMS 部門クラスⅢ事業&gt;

## (1) EMS事業

## ■ 事業内容

- ・事業所拡大 千代田区が推進するCES(千代田エコシステム)への参加事業所の拡大を図ります。
- ・事業説明会 最新の環境マネジメントシステム(EMS)動向等の情報発信を行うセミナーを開催します。
- ・監査員募集 企業の監査を増やすことを目的に、企業の体系にあった監査を提供するために、ISO審査員有資格者等を対象とした募集を行います。
- ・監査員養成研修 監査員資格取得のための研修を行います。
- ・監査員実務研修 監査員スキルの維持向上を目的に、実務研修を行います。  
各企業・団体が取組む環境問題及び環境ビジネスや社会への貢献等の話しを聞き、監査員の視野を広げレベルアップを図ります。

## (2) 監査員チーム

- ・CES参加事業所に対する監査(監査対象:既存83件、新規5件)
- ・指導助言(新規5件)

## (3) CES 認証委員会

## ■ 事業内容

CES 監査終了後に、認証委員会(第三者機関)を開催します。認証された被監査先へは、認定ロゴマーク入りの認証書を発行します。また、CES に対する活動に工夫や努力が見られ、他の事業者の模範となる取組みを行っている事業所に対しては、表彰を行い記念品を贈呈します。

## &lt;事業者部門&gt;

## (4) 環境配慮宣言事業

## ■ 対象 事業内容

区内の個人事業所等を対象に、環境に配慮した取り組み(電気、ガス、水道、ゴミ、エコドライブ(車の燃費)の計測等いずれか1つ以上)を宣言していただき、それを実行しやすくするために、各事業所に適した環境配慮活動の支援を行います。

平成31年度も引き続き、各事業所の来客用「くじ付きうちわ」と当たり用景品を配布し、環境配慮宣言「千代田のエコ自慢」のステッカーを店頭に貼っていただきます。

## ■ 目標 120件

## ★★ 環境配慮宣言「千代田のエコ自慢」とは? ★★

多くの区内個人事業主に、CESの活動に参加していただき、「環境モデル都市」千代田区のCO<sub>2</sub>排出削減活動を促進するために、まずは宣言するだけで参加できる「環境配慮宣言」を構築しました。どなたでも気軽に取り組むことのできる仕組みとなっています。

《普及啓発事業》

(5) CES 養蜂プロジェクト

EMSの普及拡大に改めて注力する必要があるとあり、今後の協議会財政収支の悪化リスクを回避するためにも、当該事業を終了することとし、明治大学大森ゼミ及びCES有志等に移管する。CESが実施する養蜂活動は終了し、明治大学の大森ゼミ所属の学生さんの研究活動並びに今後は、明治大学大森ゼミ（以下「大森ゼミ」という。）が実施主体となり、CES有志等と養蜂事業による環境教育活動及び地域貢献活動等を実施する。

明治大学と大森ゼミの間で巣箱・資器材設置及び学生の研究のための養蜂活動についての審議が行われ許可も下りたため、大森ゼミの養蜂活動資金支援に充てるために、CESのこれまでの活動で溜まった蜂蜜の頒布をする。支援期間は今年9月末日を目途に、これまで集めた蜂蜜の処理ができ次第終了とする。

(6) 再開発ビル等の自然エネルギー利用相談と

シンポジウム・講演会・見学会開催

※ コロナウィルス感染拡大予防のための自粛体制次第で実施時期・方法を検討する。

■ 事業内容

- ・ 自然エネルギー利用技術の見学      地中熱利用・地熱発電・太陽光発電・水力発電  
風力発電・食品残さのバイオ発電等 ZEB の見学
- ・ 環境講演会の開催  
    テーマ：SDGs の時代における再生可能エネルギーの可能性  
    地産地消を使った地域活性化につながる再生可能エネルギーを考える  
    等  
    講 師：大学院大学至善館 枝廣淳子教授（予定）  
    鈴廣かまぼこグループ 代表取締役副社長 鈴木悌介氏（予定） 等

(7) CES 環境活動普及助成制度事業

■ 目的

地球温暖化を踏まえて、各大学のゼミ及びサークルをはじめ、区内在住・在勤・在学者のグループ及び個人を対象に、温暖化対策に対する普及啓発・意識向上のための活動・研究に対して助成を行い、更にはそれを基に各大学・団体等との連携を深め、温暖化対策への協働体制を整えることを目的とする。

■ 事業内容 5 件を選定

- ・ 100,000 円／1 件（企画運営、会場設定、参加者募集、準備等は全て助成金申請団体が行う。）を上限とする。
- ・ ポスターやチラシを作成し各大学に掲示を依頼し、助成対象チームの審査については CES の中より審査員を選出し厳密な審査を行う。
- ・ 集大成として、各申請者の発表を兼ねた交流会を開催する。

(8) 出前授業関連事業

■ 事業内容

小学校高学年及び中学生を対象とした、温暖化対策について楽しく取り組めるアプリが完成したため、CES の HP 及び Youtube に掲載し、学校への依頼も実施し、子供たちへの周知を行う。既に作成済みのテキストも、各小学校に配付する予定。

## (9) PR活動

## ■ 事業内容

町会、商店街等の会合、マンション管理組合、企業環境部、大学等に出向き、或いは事業活動実施時に、1990年対比で2024年までに30%のCO<sub>2</sub>削減を呼掛け、更には、千代田エコシステム(CES)の紹介や事業の案内を行います。また、CES活動サポーターの裾野を広げます。

- ・CES HP の更新

2018年度に作成したFacebook やリニューアルしたHPの更新を活用し、各事業の報告を通じ、魅力のあるCESをPRし、会員をはじめとし、監査員の募集及び各事業への参加希望者を募る。  
幅広い年齢層の方々が利用しやすいWebを作成していきます。
- ・環境情報誌『エコチヨ』の発行(年2回春号・秋号)

(一社)千代田エコシステム推進協議会活動と区の環境活動の周知媒体として、春：(CES担当)・秋：(区担当)の2回/年、各3000部の環境情報誌発行
- ・会報「CES通信」の発行

会員・事業関係者・事業所・出張所を対象に、活動報告・イベント案内・会員からの投稿をメインに掲載し2回/年間を作成し、CES活動並びに千代田区のCO<sub>2</sub>削減に関心を寄せてもらうことを目的とする。

《全体事業》

## (10) 区との協働事業

## ■ 事業内容

- |               |                                               |
|---------------|-----------------------------------------------|
| 5月 中旬(中止)     | 区主催の群馬県嬲恋村で「ちよだ・つま恋の森」植樹ツアーへの参加               |
| 6月 7日(金)(中止)  | 環境月間・「ちよだ環境まつり」への協働参加                         |
| 8月 1日(木)～(未定) | 打ち水月間・千代田区役所本庁舎前での「打ち水」の実施※千代田区の打ち水月間は8月の1か月間 |
| 11月頃 (未定)     | 「エコ&サイクルフェア/千代田のエコ自慢」の共催事業を開催する。              |

以上